

# 道路

## 青梅街道天神地区周辺の安全対策について

川里春治議員(政和) ①歩道の切り下げ部分の傾斜がきついため、車いすの通行が危険では

②石森酒店前の信号機を昼間も手押し式にできないか。

③青梅街道と新小金井街道の交差点は、通行区分が多数あるためわかりにくいので改善できないか。

市長 ①歩道改良事業は完了しているが、傾斜がきつい箇所もあるので都に要望したい。

②集中制御式のため変更は困難と小平警察署から聞いている。

③わかりやすい誘導が可能かを、都に現状を伝えたい。

## 警察学校等の国有施設周辺のまちづくりの課題について

浅倉成樹議員(公明) ①警察学校北通りの自衛隊小平駐屯地正門前から警察学校東交差点までの歩道は夜間暗いので、街路灯を設置しては。

②国交大通りの警察学校正門前西側のカーブは波状塀をさらにセツトバックし、見通しをよ



警察学校正門前西側のカーブ

くできないか。  
③動物衛生研究所の万年塀をフェンスにかえられないか。

市長 ①大型照明により照度は確保されており、樹木の剪定で安全は確保できると考える。

②関東管区警察学校からは難しいと聞いているため、他の交通安全対策を検討したい。

③予定はないと聞いている。

道路交通法が改正されたが自転車はどこを走ればいいのか

虹川 浩議員(公明) ①歩道を通行できる要件が明確化されたが、市の取り組みは。

②交通安全教室等の参加者に自転車免許証を発行し、有料自転車駐車場の割引が受けられるような仕組みができないか。

③3人乗り自転車を購入する際に、助成ができないか。

市長 ①小平警察署などと連携し、学校や高齢者の交通安全教室などで引き続きルールとマナーの啓発に努めたい。

②他市の状況を注視しながら検討したい。

③今後の課題としたい。

# 公園 用水

## 玉川上水の環境保全と住環境の調和について

滝口幸一議員(フオ) ①都が策定した史跡玉川上水保存管理計画における管理内容は。

②落ち葉の活用を推進できないか。

③たばこの投げ捨てに対する対策は。  
市長 ①過密な樹木の除間伐や、桜並木の景観維持等の方針が示されている。

②本年、秋から落ち葉の収集で用いるリサイクル用の袋を作成して貸出事業を進めるとともに、収集方法のPRに努める。

③関係機関と連携し、喫煙マナーや火災予防意識の啓発に努めたい。

## 玉川上水の樹木の管理に市民の声を反映させよう

山岸真知子議員(公明) ①倒木事故の再発防止への課題は。

②樹木に対する市民からの意見や要望とその対応は。

③樹木等の状況把握にボランティアグループを活用しては。

市長 ①管理者である都と市の情報共有を初めとした緊密な協力体制の構築が課題である。

②枯れ葉の掃除については、原則として市民の自助努力や地域での対応をお願いしている。

平成19年度から清掃事務所に落ち葉のリサイクル中継所を開設し、資源循環を図っている。

③都へ適正管理を要望するとともに、活用については要請も含め研究したい。

## 市は本気で緑対策を行っているか

宮崎照夫議員(政和) ①市が直接行っている保存対策は。

②道路工事等により根が切断され、屋敷森の一部が枯れるケースがあるが、伐採費用等の対応を考へては。

③国に働きかけ、街道筋の緑屋敷森を守るべきでは。

市長 ①保存樹林等の指定を受けた土地の固定資産税等を非課税や減免することで、土地保有意欲を維持し一定の面積を確保していると認識している。

②研究していきたい。

③東京都市長会を通じ、自然緑地保全のため相続税の軽減などについて国へ要望している。

## 公共施設のあり方について

藤原哲重議員(フオ) ①公共施設の目的外使用の範囲を広げることができないか。

②公共施設を知ってもらっための事業を実施しているか。

③利用頻度の高い体育施設や地域センター等は、年末年始も利用できるようにできないか。

市長 ①直ちに拡大することは困難と考える。

②ごみの減量・資源化、環境文化財等をテーマとした施設見学会を実施している。

③現在、開館日の拡大を予定している施設はないが、利用実績やニーズを把握し費用対効果を踏まえ検討したい。

## 高齢者の体育施設使用料の軽減を

西 克彦議員(共産) ①多摩各市の高齢者に対する負担軽減策の状況は。

②小平市の体育施設の使用料は高くないか。

間実施して見えた課題は。  
②中間報告が必要では。  
③市民も交え、あり方検討会を立ち上げてはどうか。

市長 ①いかに多くの、きちんとした管理のできる人に飼育をゆだねられるかや、飼育施設が老朽化していることである。

②検討したい。

③小平はたるとる会や飼育者養成講習会の参加者から意見を聞いて、飼育施設のあり方等について慎重に検討したい。

## 公共施設

③使用料の軽減は、スポーツ振興を考へる市民委員会のテーマに入っているか。

教育長 ①15市が減免制度を実施している。

②類似8市と比較すると、温水プールとテニスコートは高いほうである。

③使用料の見直しは、行財政再構築プランの実施項目として市全体で取り組む。

## 福祉

## 後期高齢者医療制度(長寿医療制度)をどう評価するか

宮寺賢一議員(政和) ①制度の評価と堅持に向けた決意は。

②老人保健制度に戻した場合の問題点は。  
③長寿医療制度の問題点は。

市長 ①新制度のため評価は難しいが、円滑な実施に努めたい。  
②広域連合の設立やシステム開発の経費が無駄になる、高齢者や医療機関で新たな混乱が生じる等が考えられる。



長寿医療制度の窓口

## 後期高齢者医療制度の小平市民への影響について

木村まゆみ議員(共産) ①発足時に努力した点は。

②市財政と市民への影響は。

③包括診療の現状は。

市長 ①健診事業の検査項目の上乗せや人間ドック利用費補助などを独自事業として実施した。

②低所得者対策のための市の負担は8千6百60万4千円。75歳以上で収入の高い人は負担増となるが、年収約2百3万円までの単身者は負担減となる。

③診療には登録が必要だが、市町村ごとの登録件数については情報が無い。

## 高齢者の心を支えるサービスを

立花隆一議員(公明) ①高齢者総合相談窓口を設置しては。

②三鷹市のちよこつとサービス支えあい事業を実施しては。  
③ひとり暮らしの高齢者の安否確認ができるシステムを構築しては。

市長 ①専門職が対応し、出張所も含めると市内に8か所ある

地域包括支援センターを利用してもらいたい。  
②安価な対応で高齢者の生活を支える事業だが、実施後もないので研究していきたい。  
③現在、訪問給食サービスで安否確認を行っているが、今後本人の希望等に応じて選択できるサービスの提供に努めたい。

## 在宅介護・医療のこれからについて

日向美砂子議員(緑ネ) ①介護保険利用者等への調査結果から、在宅介護のニーズをどのように判断し対応するのか。

②人材不足に対する対策は。

③介護と医療の連携はどうあるべきか。

市長 ①介護保険運営協議会での議論を踏まえ、平成21年度からの第4期介護保険事業計画に反映させたい。  
②国や都へ処遇改善などを要望していきたい。  
③サービスの提供に当たり、主治医と介護サービス事業者が情報を共有化・一元化していく仕組みづくりが必要である。

## 介護保険のあり方について

川里春治議員(政和) ①小平市の第2号被保険者の中で要介護認定を受けている人数は。

②介護認定の要介護5と4の違いは。また、第1号被保険者と認定基準や認定方法は同じか。  
③介護保険での自立支援とは。

市長 ①4月末で168人である。  
②要介護5は意思疎通がより困難であり、医療依存度も高い状態である。第2号被保険者の認定申請には一定の条件がある

が、そのほかは違いがない。  
③介護を要する状態となってもできる限りその有する能力に応じ、自立した日常生活を営めるような支援をすることである。  
生活保護者の通院交通費の新基準に問題がないか

鴨打喜久男議員(政和) ①新基準により給付範囲が変わり、病院に行けないことになれば大変な問題だが対応は。

②都は厚生労働省が明確な基準を示すまでは従来どおり対応するとしているが、認識は。

③今後の課題は。

市長 ①都の対応を踏まえて給付範囲を決定したい。

②都の判断に基づき支給する。

③生活保護受給者の自立を促進していくことが重要であり、就労支援プログラムを進めるとともに、自立支援に係る新たなプログラムの整備を検討していきたい。

## 掲載分以外の質問項目

〔行政一般〕  
・行政文書のデジタル化による保存とアーカイブスの設置について

〔防災・安全〕  
・救急車トリアージ制度の小平市の現状について

〔道路〕  
・道路用照明灯を環境面から見直してみよう

〔福祉〕  
・介護保険の改善で高齢者の暮らしを守れ  
・生活保護者への通院交通費支給制限強化は撤回を